

年 表

※ 太字は学校のできごとをあらわします。
 ※ 町全体のことは梁川地区にのせました。

梁 川 地 区		年	で き ご と
年	で き ご と		
明治 4	藩 の名で学校つくる	昭和19	○戦争はげしくなり品物が買えなくなる
5	○ゆうびんとりあつかい所できる	20	○太平洋戦争おわる
6	陣屋 の建物に小学校をおく	22	ぎむ教育9 か年となり中学校できる P T Aできる
12	○旧梁川町役場ができる ○梁川・保原間が県道となる	23	子ども銀行 はじまる 給食 はじまる
13	○けいさつ署ができる	24	○梁川高校が男女共学となる 校内放送 はじまる
21	○ 蚕業 とりしまり所できる	26	○このころメリヤス工業さかんになる
22	○梁川村が町となる(人口4,715人) ○農業と商業をかねる家が150けん ○天神さまに市がたち、4と9の日に きいとがとりひきされた	27	○公立藤田病院ができる(国見町)
24	○東北線が開通する	28	校しゃのしょうじ戸 をガラス戸になおす
29	そうま地方へ6日間の修学旅行 をする	29	ジャングルジム・シーソー などつくる
33	現在地に校しゃ をつくる	30	○1町6か村ががっぺいして梁川町となる ○このころメリヤス工場たちはじめる
40	ぎむ教育が6 か年となる	32	町の水道が学校までひかれる ○梁川橋かけかえる
42	○伊達学館ができる(こうこく寺内)	33	○国保病院できる
43	○梁川・保原間にけいべん鉄道開通 ○電とうがつき電話加入者ふえる (46戸)	34	小・中のプール をつくる ○公民館ができる(現福祉会館) ○役場を栄町につくりかえる ○このころから自家用車ふえる ○このころからテレビがふえる
大正 2	○あぶくま川、広瀬川大水 家、田畑流される	35	校歌 できる
3	○蚕業しけん場できる	37	こてき隊 できる ○有線放送はじまる
7	○このころ、せい材所、ほうせき会社、 蚕種会社できはじめ	38	完全給食 となる ○共同ししょうしより場できる (粟野地区)
8	○ 実科 女学校できる	39	○しょうぶざわに町営住宅できる
9	こうどう できる	40	特しゅ学級 できる ○町章ができる
11	○銀行できる	41	町立ようちえん できる 今の校しゃ ができる 校内テレビ放送 はじまる
14	○私立保育園できる (9年と14年に2つ)	45	幼・小・中共同の給食室 できる ○自動信号機つけられる ○電車がはいしされる
昭和 2	○梁川・福島間に電車が開通する		
	○あぶくま川に梁川橋がかけられる		
4	校しゃぞうちく する(児童数1,173名)		
5	○梁川・福島間にバスが開通する		
7	ピアノ がきふされる		
11	○このころ、まきストーブ入る		
12	○広瀬川の堤防工事はじまる		
18	○大水で田畑が流れる		
19	そかい児童 がくる		